

平成27年司法試験 合格体験記

平成26年度修了（未修コース）安西 麻耶

9期末修の安西麻耶と申します。岡山大学法学部を卒業後、そのまま岡山大学法務研究科に進学し、3年間の勉強を経てこのたび司法試験に合格することができました。法学部卒業なのに未修者コースを選んだのは、恥ずかしながら学部時代は部活に力を入れており、とても法律の基礎が身についているとは言えなかったからです。ただ、学部時代から岡大ローの教授の授業を受けさせてもらったり、ゼミ形式で会話をする機会が多かったりと、何かとご縁がありましたので、ここの先生方なら足りない基礎をなんとかしてくれるだろう、と期待を込めてしっかりと3年腰を据えて勉強することを決めました。そして、その決断は間違っていなかったと思うので、岡大ローが合格のために与えてくれたことをお伝えします。

①よく言われることですが、岡大ローは地方ローのため少人数です。そのため友人同士の動向がよく見え、○○は遅くまでいつも自習室に残って勉強している、◇◇は授業が終わったらいつも先生に質問を行っている、など努力している友人の姿をいつも見ていました。自分でいつでもやる気を出せる人は少数だと思います。頑張っている友人の姿を見ることでやる気をもらい、その姿がまた誰かをやる気にさせる。そんないい循環ができる環境が整っていたからこそ、3年間毎日のように勉強をし続けることができたのだと思います。

また、人数が少ないという意味では教授や資料室の方もすぐ顔と名前を覚えてくれ、声をかけてもらう機会が多かったように思います。とくに、直前期には友人とあまり会話をしない日でも資料室に行って話することで和むことが多々ありました。そして、教授は3、4人の少人数であっても自主ゼミを見てくれ、真っ赤になった答案を返していただくななど、一人一人を丁寧に見てくれていました。

②さらに、授業で習ったことがきちんとつながっていることを実感できたことがあげられます。1年時には基礎の部分を学び、実際に論述試験でどう役に立つかあまり考えずに何とか予習をこなし授業についていっていました。しかし2年時にそれらの知識使った問題を小問形式で問われる演習が始まります。そして、演習を乗り越えて過去問や問題集などを解いてみると、授業を通して作っておいたまとめノートが、いかに役に立つことか！当時はあまり意味の分からなかった小問も、問題との流れで必ず立ち返るべき点であったり、小問の流れがそのまま論述の流れになっていたりと、試験に至るまでつながっていたのです。たとえ初見の問題であっても考える地力まで養ってもらいました。直前期の模試以外は特段予備校等を利用したことはありませんでしたが、岡大ロー

内での勉強でしっかりと力をつけられる環境が整っていたと思います。

このような充実した環境の中でしっかりと勉強をすることで、夢をかなえることができたので、岡大ローには感謝の言葉しかありません。感謝を忘れず、日々精進していきたいと思います。ありがとうございました。